

福島県立博物館 令和2年度特別講座

詩人のいる博物館③

# ふくしまを写す

2021年

3月28日(日)

13:30~15:00

福島県立博物館  
講堂



岩根愛『A NEW RIVER』より



岩根愛『A NEW RIVER』より



講師：和合亮一さん（詩人）  
岩根 愛さん（写真家）

和合亮一（Wago Ryouichi）

福島県福島市出身。詩人。国語教師。中原中也賞、晩翠賞、民友県民大賞、NHK東北文化賞など受賞。震災後に福島から発信した詩をまとめた「詩の磯」がフランスにて詩集賞受賞（日本文壇史上初）。最新刊「QQQ」にて昨年度の萩原朔太郎賞受賞。福島県教育復興大使。福島大学応援大使。

岩根 愛（Iwane Ai）

東京都生まれ。2006年以降移民を通じたハワイと福島に関わりをテーマに制作を続ける。2018年、初の写真集『KIPUKA』（青幻舎）で第44回木村伊兵衛写真賞、第44回伊奈信男賞受賞。2020年春の東北の桜を撮影した最新作『あたらしい川』を「あしたのひかり-日本の新進作家 Vol.17」（東京都写真美術館）に出展、『A NEW RIVER』刊行（bookshop M）。www.mojowork.com

参加費：無料

要申込（定員100名、2月28日から受付開始）

お電話（0242-28-6000）または福島県立博物館受付カウンターでお申し込み下さい。

今年度より開講している特別講座。  
福島市在住の詩人・和合亮一さんを講師にお招きし、  
「詩人のいる博物館」と題して開催します。

今年度3回目のテーマは「ふくしまを写す」。写真家の岩根愛さんをゲストにお迎えし、福島市出身の詩人・和合亮一さんとの対談をお送りします。

岩根愛さんは、2006年以降、移民を通じたハワイと福島に関わりをテーマに制作を続け、2011年の東日本大震災後は、原発事故で全町・全村避難となった人々の故郷での暮らしの気配を360°パノラマカメラで撮影したり、三春町の伝統工芸・伝統芸能と自然に着目した作品を制作してきました。写真という表現手段で福島を描きつづけている岩根さんと、詩で福島を表現している和合亮一さんが、福島的美しさ、豊かさ、震災について語りあいます。東日本大震災から10年。表現から震災を考え、どう伝え、問いかけていくのかをみなさんと共に考える場としたいと思います。ぜひご参加ください。

※講座の様子を収録し、後日博物館公式 Youtube チャンネルで公開予定です。会場に撮影機材およびスタッフが入りますことをあらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により予定が変更になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※ご参加の際はマスクの着用と検温にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。